

# 山大病院だより

2013  
6月号  
No.211



## 女性 診療外来 10周年



同じ疾患でも、  
男性と女性では、  
個人差以上に症状の  
感じ方が異なることが  
あるんです。

本院の女性診療外来は、**スタッフ全員が女性**です。

同性の立場で患者さんのお話をよく聴き、それぞれの背景を考慮して健康管理をお手伝いできる総合的な外来を目指して、2003年3月に開設しました。

専門の異なる医師やメディカルスタッフが連携して診療にあたっていますので、年齢や症状を問わず、健康に不安がある女性の方々に気軽に受診していただけます。必要に応じて専門外来もご紹介します。

**診察は完全予約制**で、それぞれの患者さんの**診療時間を十分に確保**しています。

これからも患者さんに安心して受診してもらい、満足していただけるよう、スタッフ一同、努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

(詳細は4ページにも記載されています。)

### スタッフ紹介

松田昌子(内科)



中高年女性の健康全般に  
対応いたします。

大草知子(第二内科)



循環器内科を専門としています。  
ご困りのことがありましたら  
ご相談ください。

松元満智子(内科)



ごこの科の病気が不明な時も  
ご相談ください。

渡邊愛(精神科)

女性のライフステージを  
考慮した“心のケア”の  
提供に努めていきたいと  
考えております。

前田訓子(外科)



乳腺疾患や肛門疾患を  
担当しています。

名尾朋子(内科)



狭心症や高血圧など  
循環器疾患が専門です。

岡田真紀(婦人科)



婦人科的な悩みがあれば、  
気軽に相談に来てください。

浅田裕美(婦人科)



まずは気軽に相談からどうぞ!!

日野博子(看護師)



「迷うより 勇気を出して 電話して」  
まずは電話でご相談を。

上田真寿美  
(健康運動指導士・指導健康心理士)



運動に関する悩みが  
ありましたらご相談ください。

田中満由美(助産師)



排尿障害に対する  
体操を看護職3名が  
担当しています。

齊田菜穂子(看護師)



がんの予防に関連した  
公開講座も開催しています。

有富早苗(管理栄養士)



栄養食事相談を担当させて  
いただいています。

村上京子(助産師)



亀崎明子(助産師)





# イベント・レポート



様々な出来事をご紹介します。

## 平成25年度「看護の日」記念行事を開催しました!!



5月8日(水)、本院外来棟にて、「看護が私を強くする」をメインテーマに「看護の日」記念行事を開催しました。田口病院長からの挨拶に続いて、お祝いと感謝の意を表して、田口病院長と阿部事務部長から猪上看護部長へ花束が贈呈され、猪上看護部長から「課題は沢山ありますが、役割をまっとうできる看護部でありたいです。」とお礼の言葉がありました。

行事では、記念グッズの配布、介護用品の展示、また看護師等が、医療・栄養・福祉・健康の相談コーナーおよび禁煙啓発コーナーにて相談に応じたほか、アドバンストナーチーム※1による、手洗いチェック、ハンドマッソーの実践・指導等も行い、多くの方々に参加いただきました。また、各部署のパネル、写真や川柳も展示しました。当日は、本学マスコットキャラクターのヤマミイもお手伝いに来てくれ、記念グッズの配布や記念撮影等に、大活躍でした。



## 平成25年度 白衣着衣式

4月5日(金)、第3講義室において、白衣着衣式が執り行われました。当式は毎年、医学部医学科同窓会である霜仁会(そうじんかい)から医学科5年生に白衣が贈られるもので、坂井田医学部長、福本霜仁会長、田口病院長、猪上看護部長をはじめとする関係者が出席しました。

福本霜仁会長から学生代表に白衣が授与され、真新しい白衣を身にまとった学生代表の伊勢田憲史さんが「また一歩夢に近づけました。精一杯勉強させていただきます」と謝辞を述べた後、5年生全員が白衣を身にまとい、記念の集合写真を撮影しました。



## 「一口後見人プロジェクト」による寄付つき自動販売機を設置

赤い羽根共同募金が、宇部市で生活される認知症高齢者、障害者の方を守るために立ちあげた「一口後見人プロジェクト」による「寄付つき自動販売機」が医学部内に2台設置されました。

これらの自動販売機は、同プロジェクトにボランティアで参加した医学部保健学科の学生がデザインしたもので、赤い羽根共同募金と成年後見人制度の体制づくり、学生とのコラボは、全国で初めての企画となっています。設置日に行われた式典には、自動販売機にもデザインされている本学マスコットキャラクターのヤマミイも駆けつけ、関係者と共に「寄付つき自動販売機」のたくさん利用を呼びかけました。



総合研究棟 1階ラウンジ (協力: コカ・コーラウエスト株式会社)

医学部福利厚生施設棟「医心館」1階ロビー (協力: 株式会社ビバックス)

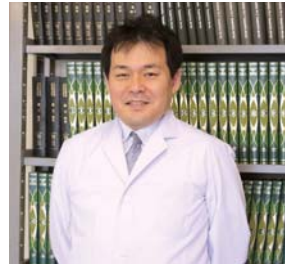
## 中本哲也助教が国際耳鼻咽喉科学振興会のSPIO Awardを受賞しました

このたび、本院の中本哲也助教が、日本耳鼻咽喉科学会発行の英文科学雑誌「Auris Nasus Larynx Vol.39, No.3, 270-274, 2012」で、SPIO\*1 Awardを受賞しました。

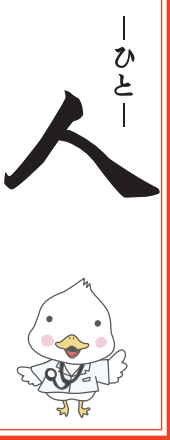
本賞は、同誌に平成24年度に掲載された全原著論文(筆頭著者は45歳以下)の中から最優秀原著論文1篇に対して授与されるものです。

本研究は、耳鼻咽喉科学分野と医化学分野との「内耳と熱ショック応答」に関する共同研究の一環として行われ、熱ショック応答誘導剤が音響障害後の炎症を抑制することを解明した業績が日本耳鼻咽喉科学会内で高く評価され、今回の受賞につながりました。

中本助教は、「この分野において非常に荣誉あるSPIO Awardの受賞者に選ばれたことを大変光栄に思っております。本研究を行うにあたり、御指導いただきました山下裕司教授、中井彰教授に厚くお礼申し上げます。また、ともに研究を行ってきた耳鼻咽喉科学教室の先生方にも深く感謝しております。」と受賞の喜びを語っておられ、今後ますますの活躍が期待されます。



※1 SPIO: 日本耳鼻咽喉科学会の関連団体



# 山大病院 NEWS



ホットなニュースをご紹介します。

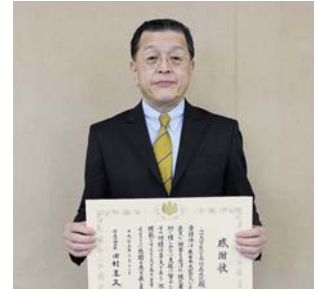
## がん・なんでも相談窓口を開設



3月29日(金)、外来棟玄関ホールにおいて、宇部市がん・なんでも相談窓口のほり旗贈呈式が開催され、久保田市長からのほり旗と登録認定書が贈呈されました。がん・なんでも相談窓口では、がんの予防から早期発見・早期治療につながるよう、医療・保健・福祉サービスの情報の提供など、市民の方々が安心・納得できる支援を行っています。相談窓口は、がん相談支援室(診療連携室内)に設けており、開設時間は9時から17時までで、看護師や医療ソーシャルワーカーが相談に応じています。

問合せ先: 0836-22-2473

## 「東日本大震災における被災者の支援活動等に対する厚生労働大臣感謝状」伝達式



4月22日(月)、山口県庁において、「東日本大震災における被災者の支援活動等に対する厚生労働大臣感謝状」伝達式が行われました。この感謝状は、東日本大震災における被災者の支援活動による功績が、特に顕著であると認められた団体に対して贈呈されるもので、県内では、本院を含め14の病院・団体に感謝状が贈られました。

本院は、震災発生の翌日に、災害時派遣医療チーム(DMAT)をドクターヘリにより被災地に派遣しました。その後、平成24年12月31日までに、医師、看護師、薬剤師、放射線技師、歯科衛生士、事務職員の計56名36チームを、避難所や医療の現場等に派遣しました。震災発生から2年が経ち、医療支援の私たちも外傷からメンタルケアへと変わりつつありますが、山口大学は今後もできる限りの支援を進めてまいります。

## 屋上庭園花植え by 医学部園芸部



道具や土を運ぶ作業は大変でした!

4月3日(水)、新中央診療棟の屋上にある庭園に芝桜、ガザニア、マツバギク、クロスコミアルシニア、ジャンボハプリアンサスを植えました! 屋上庭園は立入禁止区域ですが、1病棟病室の一部からは見ることができ、目で見て楽しむ癒しの空間をテーマに、花の色や花壇の形を工夫しました。多くの方々に美しい花を楽しんでいただけたら嬉しく思います。

当初は、雑草だらけだった庭園ですが、約5か月かけて、草刈り、芝剥ぎ、花壇作り、土の入替え、花植え作業をし、やっと庭園らしく形を整えるところまで行きました。今後は、花たちが無事に根付き、成長するのを見守りながら、新たな計画を立て、さらに発展させていきたいと思います。

問合せ先: m065eb@yamaguchi-u.ac.jp (園芸部・堀之内代表)



みんなで和気あいあい♡

## 奇跡の音色 / シーボルトのピアノ

萩市・熊谷(くまや)美術館



図1 シーボルト肖像画 (川原慶賀筆)

地域医療推進学講座の中村です。硬派な話題が続いたので、今回のテーマは「音楽」です。江戸時代後期に長崎の鳴滝塾で蘭学や医学を伝えた、シーボルト医師(1796~1866: 図1)のことはご存知と思います。しかし、そのシーボルトが日本に持ち込んだ「ピアノ」が萩市にあることはあまり知られていません(写真1)。この、通称シーボルトのピアノは、わが国に存在するピアノの中で最古のものとされています。

ピアノの音色は、熊谷美術館のHPで聴くことが出来ます



写真1 萩市熊谷美術館にて(筆者)

音楽の歴史を紐解くと、ピアノの原型をつくったのは、イタリア人の楽器製作者バルトメオ・クリストフォリ(1655~1731)です。チェンバロの音が強弱の変化に乏しいことを不満に思い、爪で弦をはじいて鳴らす代わりにハンマー仕掛けで弦を打って鳴らすという、現在のピアノ・メカニズムを1709年に発明しました。彼はこのメカニズムを備えた楽器を「クラヴィチェンバロ・コル・ピアノ・エ・フォルテ」(弱音も強音も出せるチェンバロ)と名付けました。この名称を短くつめて、現在「ピアノ」と呼ばれています。専門家の調査・鑑定により、シーボルトのピアノはイギリスのWilliam Rolfe & Sons社製で、1819年に作られたことが分かりました。これはベートーヴェンやシューベルトが活躍していた時代であり、シーボルトのピアノが当時のピアノの特徴を備えていることから、その学術的、文化的価値は極めて高いとされています。

当時長崎に居住していたシーボルトが、わざわざ萩に来たわけではありません。シーボルトのピアノが発見されたのも1955年(昭和30年)のことです。1828年にシーボルトが帰国して以来、実に127年もの間、熊谷家の土蔵の中でひっそりと眠っていたのです。「シーボルト事件」以後、幕府の厳しい弾圧の中で、数奇な運命を潜り抜けてきたピアノの音色には、数々の歴史の偶然と、奇跡を感じる事ができるでしょう。



## 診療内容

内科、婦人科、乳腺外科、精神科等の診療に加え、排尿障害指導、運動指導、栄養指導、健康相談も行っており、女性の多様な健康問題に対応しています。

女性診療外来は、病気の種類を問わず受診できる「女性のためのプライマリ・ケア」を実施するところです。

乳腺の異常

月経痛  
月経不順  
月経前の不快症状  
おりものの異常

お薬による  
髪の毛の  
相談

更年期障害  
動悸や息切れ  
ほてり

高血圧  
高脂血症

肥満

便秘

尿もれ

肛門の異常

乳房手術後の  
特殊ブラジャーの  
相談

精神的な  
不安・不眠

- とにかく調子が悪い・・・
- 症状はあるのに、他の医療機関では異常なしと言われた・・・
- 病気かどうかわからないので、相談したい・・・
- 医師に自分の症状を十分に訴えられない・・・
- 運動を勧められたけど、どの程度したらよいか分からない・・・
- 尿もれが気になって旅行に行けない・・・

...そうだ、女性外来に行こう!

更年期障害と捉えられがちな症状の中には、心臓や循環器の病気が隠れていることも。更年期症状かな?と思われたら、一度、医療機関を受診されることをおすすめします。



## 外来診療担当医日割表

平成25年6月1日現在

	午前	午後	診療領域	指導、相談
月	婦人科(岡田、浅田) ※第1、3週のみ		婦人科一般、更年期症候群	排尿障害指導(田中、村上、亀崎) ○毎週月曜日 午前  運動指導(上田) ○毎月第1火曜日 午前  栄養指導(有富) ○医師診察日と同日  ブラ・かつら(齊田) ○医療用ブラジャー相談は 1~3か月に1回程度  ○医療用かつら相談は 1か月に2回程度
	二内科(大草) ※第1週のみ		一般内科	
火		内科(松元)	消化器内科	
水	精神科(渡邊)		メンタル・ヘルス	
木	内科(松田)		内科、更年期症候群	
金	外科(前田)		乳がん、肛門外科等	
		内科(名尾)	内科	

女性の健康に対する意識を高め、健康を向上させることは、家族全体の健康の向上につながります!



女性診療外来

☎0836-22-2500

予約受付時間 月~金曜日 9:00 ~ 15:00

URL <http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/section/02.html>

- 初診・再診ともに「完全予約制」です。
- 本院のIDカードをお持ちの方はIDカードを準備してお電話ください。
- 電話でお伺した症状により、看護師が適切と思われる医師の診察日に予約をいたします。
- 受診希望の医師を指名することもできます。

### 編集後記

院内限定だった山大病院日よりですが、今号より、外来棟玄関ロビーのエスカレーター付近等に置くようになり、患者さんやそのご家族、来院者の方々にも読んでいただけた情報誌になりました!

編集担当(総務課総務係: K.T.、C.I.)

### 発行情報

企画発行: 山大病院より編集委員会  
事務担当: 山口大学医学部総務課総務係  
TEL: 0836-22-2007  
E-MAIL: me202@yamaguchi-u.ac.jp